

I T活用社会科学学習指導案

作成者 教育センター指導主事

1. 校 種 小学校
2. 学 年 第4学年
3. 教科等 社会科
4. 単元名 わたしたちの県のように

5. 単元の指導計画（総時数20時間）

第一次 県のように、どうなっているの（8時間）

- 1時 県の位置・・・・・・・・・・・・・・・・（1時間）
- 2時 市町村の様子・・・・・・・・・・・・（1時間）
- 3時 土地の様子・・・・・・・・・・・・・・（1時間）
- 4時 平地・山地・川・・・・・・・・・・・・（1時間）
- 5時 土地利用の様子・・・・・・・・・・・・（1時間）
- 6時 交通の様子・・・・・・・・・・・・・・（1時間）
- 7時 地理的に見た県の特徴のまとめ・・（2時間）

第二次 人びとは、土地にあわせて、どんな暮らしをしているの（10時間）

- 1時 調べる計画を立てる・・・・・・・・（2時間）・・・本時（2時間扱い）
- 2時 調べる・・・・・・・・・・・・・・・・（3時間）
- 3時 まとめる・・・・・・・・・・・・・・（2時間）
- 4時 調べたことを発表する・・・・・・・・（2時間）
- 5時 産業から見た県の特徴のまとめ・・（1時間）

第三次 石川県のカルタを作ろう（2時間）

6. 本時の学習

(1) 題 目 人びとは、土地にあわせて、どんな暮らしをしているの（学習計画を立てよう）

(2) ねらい

県内には、地域の特性を生かした伝統的な産業や、地形や自然を生かした生活があることに気づき、さらに詳しく調べたいという意欲を持つことができる。 **【関心・意欲・態度】**

県内の伝統工業や地形を生かした産業・生活について調べる計画を立てることができる。

【思考・判断】

(3) I T教材を使う意図

本単元は、県の様子を地理的に見る前半と、産業・生活面から見る後半に分けることができる。本時は後半の第1時に当たり、土地に合わせた産業・生活について調べる計画を立てることになる。そこで、伝統的な工業（太鼓作り）や特色ある地形を利用した産業（ぶどう作り）についてのI T教材を使うことにより、学習課題を把握し、さらに詳しく調べようとする意欲を持たせる。

(4) 使用ソフト Microsoft 社 PowerPoint2002

(5) 展 開

欄	学習過程	児童の学習活動	教師の指導・支援	評価規準
5分導入	1 石川県の地理的特徴について復習する	○これまで学習してきた石川県の地理的特徴について復習する	・これまでのノートやワークシートを見ながら自由に発表するように指示する	
40分 展 開	2 I T教材を見て課題をつかむ	○IT教材(太鼓づくり)を見ながら何を作っているのか考える ○白山市の太鼓づくりは200年前から行われている伝統工業であることを知る ○県内には他にどんな伝統工業があるか考える ○IT教材(ぶどうづくり)を見ながらどんな土地を利用して何を作っているのか考える ○かほく市のぶどうづくりは砂きゅうの地形を利用した産業であることを知る ○県内には他にどんな地形があるか考える	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・ I T教材（太鼓作り）を使い、県内の伝統工業について調べようとする意欲を高める ①②③ </div> ・ 紙テープで200年を表し、視覚的にイメージしやすくする ・ 白地図に白山市を記入する ・ 児童が思いつかない場合は、地図帳を見るよう指示する <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> ・ I T教材（ぶどう作り）を使い、県内の地形を生かした産業・生活について調べようとする意欲を高める ④⑤⑥ </div> ・ 砂きゅうを利用した産業(生活)であることを押さえる ・ 白地図にかほく市を記入する ・ これまで学習した石川県の地形の特徴を思い出すよう支援する	【関心・意欲・態度】 県内の伝統工業や地形を生かした生活について関心を持ち、意欲的に調べようとしている (発言、観察)
石川県の伝統工業や地形を生かした生活について調べる計画を立てよう				
40分 展 開	3 自分の課題を決める 4 学習計画を立てる 5 学習計画を発表する	○一人一人何について調べるか決める ○同じ内容同士でグループを作る ○グループで調べる内容・方法を考える ○調べる内容・方法を発表する	・ 調べる内容をカードに書く ・ カードを黒板に貼り、内容ごとにグルーピングする ・ 調べる内容と方法をワークシートに書く ・ 各グループの内容と市町名を地図に記入する	【思考・判断】 自分の課題を決め、グループで学習計画を立てることができる (カード) (ワークシート)
5分まとめ	6 本時の学習のまとめをする	○全グループの調べる内容と方法を確認する	・ 白地図を利用して調べる内容と方法、市町名と位置を確認する	

学習活動を指示する
⑦
⑧

(6) IT教材の説明

何を作っているのかな？
げんぼく せつだん
1 原木の切断



画像をクリックすると動画が再生します。

①について

- ・①から7枚のスライドは、太鼓作りの工程を動画及び静止画像で説明している。
- ・スライドを順次見せながら、クイズ形式で「何を作っているのか」考える。
- ・児童は分かったところで挙手し、答える。

7 完成した太鼓 たいこ



白山市では、このような太鼓づくりが200年ほど前から行われてきています。

このように古くから伝えられてきたわざを使った工業を、**伝統工業**と言います。

②について

- ・②で太鼓づくりであることを確認する。
- ・白山市・松任では、このような太鼓づくりが200年ほど前から行われてきていることを確認する。
- ・このように古くから伝えられてきたわざを使った工業を、伝統工業と言うことを確認する

白山市の太鼓(たいこ)づくりを地図に記入しよう



白山市 太鼓(たいこ)づくり

県内には他にどんな伝統工業があるかな？

③について

- ・児童は白地図に「白山市 たいこ作り」を記入する。
- ・県内には他にどんな伝統工業があるか考えさせる。
- ・児童が思いつかない場合は、地図帳を見るよう指示する

どんな土地？を利用して何を作っているのかな？
1 ビニルハウス 砂地にビニルハウスが建っています。



画像をクリックすると動画が再生します。

④について

- ・④から4枚のスライドは、ぶどう作りの過程を動画及び静止画像で説明している。
- ・スライドを順次見せながら、クイズ形式で「どんな土地を利用して何を作っているのか」考える。
- ・児童は分かったところで挙手し、答える。

6 売る工夫①

高松地区では、消費(しょうひしゃ)の願い考え、いろいろなぶどうを栽培(さいばい)しています。



砂きゅうは温度が上がりやすいので、ぶどうの生長が早くなります。

かほく市高松のぶどうづくりは、砂きゅうという地形を生かした産物です。

画像をクリックすると動画が再生します。

⑤について

- ・⑤で、かほく市・高松の砂きゅうを利用したぶどうづくりであることを確認する。
- ・砂きゅうは温度が上がりやすいので、ぶどうの生長が早くなることを確認する。

砂きゅうの地形を生かしたかほく市のぶどう作りを地図に記入しよう



⑥について

- ・児童は白地図に「かほく市 ぶどうづくり」を記入する。
- ・県内には他にどんな地形があったか考えさせる。

石川県の伝統工業や地形を生かした生活について調べる計画を立てよう。

1. 何について調べるか自分で決めよう。
伝統工業? 地形を生かした生活?
2. 調べることが同じ人どうしてグループになろう。
3. グループで調べる方法を相談しよう。
4. グループごとに調べる内容と方法を発表しよう。

⑦について

- ・調べる計画を立てるための学習活動をスライドで順次提示し、「調べる内容の決定」「グルーピング」を黒板を使って行う。
- ・その後、グループごとに調べる方法を相談する。

発表を聞きながら地図に記入しよう



⑧について

- ・各グループの発表を聞きながら調べる内容と市町名を地図に記入するようにスライドで指示する。
- ・児童は発表を聞きながら、ワークシートに「市町名」と「調べる内容」を記入する。